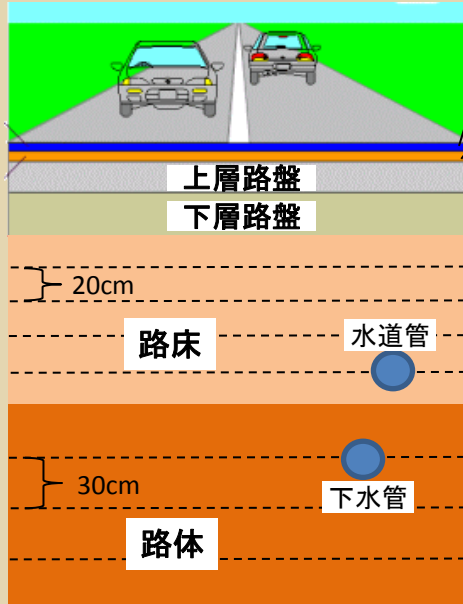


こんにちは！新しい学年がスタートして2週間ほど過ぎましたが生活のペースは出来てきましたか？

弊社でも新年度とともに新しい現場が始まりました。下水道工と上水道工事をグループ会社で同時に受注し、現場もたまたま同じ場所です。ホームページで状況は更新していきますが、こちらでもどこかの機会で、下水道と上水道の違いを比較しながら皆さんにお伝えできればいいなと思っています!!それもふまえて、今回は道路のしくみをお話します。

TOPIC

道路の下ってどうなってるの??



表層

基層

舗装工事

土木工事

みなさんが普段通行している道路の構造も基準がきちんと決められていて、こんなに沢山の層からできているんです。一番上の表層と呼ばれる部分が一般的にはアスファルト（場所によってはコンクリート）舗装です。下層路盤までは舗装工事、それより下は土木工事の範囲になります。下水道工事のように道路を路床や路体まで掘り返す工事は土木工事となり、最後の舗装部分を仕上げるのが舗装工事となるんです。土木工事に分類される部分も「路床は20cmごとで1m」「路体はそれより下の部分で30cmごと」に転圧（振動や圧をかけて締め固めること）をしなければなりません。水道工事の時も道路を掘り返し、管を設置したら一気に土を埋め戻すのではなく、20cmもしくは30cmごとに転圧をして、路盤面までその作業を繰り返すわけですね。全ては道路を通行している私たちの安全の為、手間のかかった作業がされているんですね。普段見る事の出来ない世界が見れるなんて、面白いですよ!!

輝くアシノビト

芦野組グループで働く「人ビト」を紹介。土木の仕事に対する思いを聞いてみました。

Number.1

Q.芦野組に入社したきっかけは？

→ハローワークの求人票です。

前職も土木の仕事をしていました。その中で、公共土木工事をしたいと思うようになり、芦野組が希望と合っていたので入社を決めました。

Q.仕事で大変なことは？

→自然が相手なので、設計通りにいかない事もよくあります。実際に工事を始めてみると現場の状態が図面と違ったりとか…そうなると図面を直したり、全体的な再検討が必要になり大変です。

Q.土木の仕事の面白い部分教えてください。

→大変な部分と隣合わせなのですが、図面通りじゃなかった現場を「どうすれば設計の完成形になるか」を考えて作り上げるのは楽しいです。頭を悩ませただけ完成時の達成感ややりがいも大きいです。また、芦野組は色々な工事をするので現場ごとに新しい発見があり、何年働いても飽きる事がないどころか、いつも新鮮な気持ちで仕事ができます。

Q.入社して良かったと思うところは？

→会社は、現場で働く作業員が仕事しやすい環境づくりを配慮してくれます。

現場で使う道具や機械なども、作業員の要望で導入してくれ、仕事の効率化にも繋がっています。最近ではドローンを導入してもらい、現場の完成写真を空から撮影するのを楽しみにしています。

Q.学生さんに向けてのメッセージ

→この仕事は学歴や経験関係なく誰でもスタートできます。その後、経験を積んで国家資格である施工管理の資格を取得すれば、現場監督として一つの工事を自分で考えて任せてもらえる様にもなります。

やる気次第で、資格もキャリアステップも望める部分はとても魅力ですよ！



芦野組 現場監督
Oさん (23年目)